ベルン、2026年11月4日

2026年WHOの若年層の身体活動不足に関するデータ公表を受け、スポーツ用品業界への公開書簡

最大のライバル「青少年の運動不足」に立ち向かうための連携

世界のスポーツ用品業界の皆様へ

この書簡は政府宛てのものではありません。

この書簡は、私たち――世界で最もダイナミックな産業の一つを構成するメーカー、ブランド、小売業者、そして連盟――に向けたものです。

本日、世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）は、スポーツ用品のバリューチェーンに関わるすべての企業に対し、この公開書簡への署名に参加し、スポーツと身体活動の未来が直面する最大の課題の一つである「若年層の運動不足」に立ち向かうため、さらなる取り組みを約束するよう呼びかけます。

私たちの製品、コミュニティ、そしてスポンサーシップを通じて、私たちは世界中でスポーツや身体活動への参加を牽引する原動力となっています。**私たちは、あらゆる意味で、世界を動かす産業なのです。**

しかし今日、**WHOの新たなデータが厳しい現実を浮き彫りにしています。世界中の青少年の86%が推奨される身体活動レベルに達しておらず、4人に1人は週に1日も身体活動を行っていないと報告しており、世界のあらゆる地域において、女子は男子に比べて一貫して身体活動量が少ないままです。**

『ランセット・グローバル・ヘルス』誌に掲載された「2010年から2025年までの青少年の身体活動の傾向」に関する記事および、それに付随するWHO報告書『*A Generation Missing Out*』は、私たち業界が他の公的・民間のステークホルダーと共に、対応しなければならない重大な世界的な課題を明らかにしています。

なぜこれが当業界にとって重要なのか

スポーツ用品業界は、年間6,140億ドル以上の売上高を生み出し、世界のGDPに約6,750億ドルを貢献し、世界中で2,800万人の雇用を支えています。同業界は、イノベーション、草の根プログラム、アスリートのスポンサーシップ、地域社会への取り組み、そして人々に体を動かす意欲を与える製品に投資しています。

WHOの新たな報告書は、ライフスタイルや環境の変化、スクリーンタイムの増加が、若者が体を動かす機会をどのように減少させているかを浮き彫りにしています。**多くの子供や10代の若者にとって、スポーツや身体活動は日常生活から排除されてしまい、運動がもたらす生涯にわたる身体的、精神的、社会的な恩恵を享受できなくなっています。**

これは公衆衛生、教育、社会、経済における課題である。しかし、同時に業界にとっても課題である。

参加率の低下は、スポーツおよび私たちの業界が依存しているコミュニティ、人材育成の道筋、そして文化を弱体化させます。運動と生涯にわたるつながりを築く若者が減れば、参加率は低下し、才能ある人材の育成ルートは狭まり、コミュニティは弱体化し、私たちの業界やより広範なスポーツ経済が築かれている基盤はさらに脆弱なものとなってしまいます。

WHOの最新の調査結果は、業界のすべての関係者および社会全体にとって、「私たちはさらに何ができるか」と自問するための警鐘でなければなりません。

課題への対応

その対応は企業ごとに異なるでしょう。製品へのアクセスを改善すること、参加促進プログラムへの投資、学校や地域社会への支援、若者との関わり方の再考、あるいはイノベーションを活用して活動への障壁を取り除くことなどが考えられます。

一社だけで若者の運動不足という危機を逆転させることはできません。しかし、業界として、私たちは有意義な貢献を果たすための独自の立場にあります。**私たちには、世界的なネットワーク、信頼されるブランド、地域社会との強固なつながり、行動変容に関する専門知識、そして「動き」に根ざした共通の目的があります。**

2024年、WFSGI加盟企業25社が連携し、成人の間で深刻化する運動不足の危機に対する認識を高める取り組みを行いました。2025年、WFSGIは初の「*身体活動インパクト報告書*」を発表し、参加促進に向けた36社の取り組みを紹介しました。WHOの最新の若者に関するデータによると、進展は停滞しており、この課題はますます緊急性を増しています。

そのため、本書簡に署名する企業は、業界として一丸となって、また個別に、WFSGIと連携し、以下の4つの重点分野において対策を講じることを約束します：

1. *青少年の参加を促進し、ジェンダー格差を解消し、最も活動量の少ない青少年にも働きかける取り組みを実施する*
2. *スポーツ用品業界内外の連携を通じて、ベストプラクティスやエビデンスに基づく解決策を共有する*
3. *青少年の身体活動を左右するシステムや環境を変革できる、グローバル、地域、各国のステークホルダーと連携して取り組む*
4. *より活動的な世代を育成するため、健康、教育、スポーツ、貿易、都市計画の各政策間の連携強化を提唱するべく、政府との対話をさらに深めること。*

あなたの名前、声、そしてコミットメントを添えてください

青少年の運動不足を「新しい常態」として受け入れるわけにはいきません。そこで、スポーツ用品のバリューチェーンに関わるすべての企業に対し、私たちと共にこの旅路を歩むよう呼びかけます。市場では競合関係にあるかもしれませんが、協力し合うことで、はるかに大きな成果を上げることができるのです。

私たちにとって最大のライバルは、何もしないことです。

私たちにとって最大のチャンスは、人々の参加です。

そして、以下に署名した企業は、この両方に取り組むチームの一員となるべく、協力することを決意しました。

エマ・ズウィーブラー	**ホルヘ・カシミロ**	**デイブ・ウィーラー**
WFSGI CEO	WFSGI共同議長 政府・広報・公共政策担当役員、ナイキ	WFSGI共同議長 最高執行責任者、ニューバランス

署名団体

World Federation of the Sporting Goods Industry (WFSGI)

1. 4iiii Innovations
2. adidas
3. Amer Sports
4. ANTA Group
5. APICE
6. ARENA
7. Arc’teryx
8. Armada
9. ASICS

10. ASMAS Sportfachhandel Schweiz (Switzerland)
11. Atomic
12. Bauer
13. Beijing Qiangmeng Sports Development Co.,Ltd
14. Berghaus
15. Brooks
16. Canada Sporting Goods Association
17. Canterbury
18. Capital Sports Corp. Pvt. Ltd.
19. China Sporting Goods Federation (CSGF)
20. Columbia Sportswear Company
21. CORIMA
22. Cycle Europe
23. Decathlon
24. DESCENTE LTD.
25. DT Swiss
26. Elite Sports
27. Ellesse
28. Endura
29. Federation of the European Sporting Goods Industry (FESI)
30. Freewill Sports Private Limited
31. HIRU
32. IIC - INTERSPORT
33. JASPO (Association of Japan Sporting Goods Industries)
34. JOMA Sport
35. Kickers
36. Law Office Dr. Schaefer
37. Li-Ning
38. lululemon
39. Mitre
40. Mizuno
41. Molten
42. New Balance
43. Nike
44. Norsk Sportsbransjeforening (Norway)
45. Oakley
46. On
47. OQUO
48. Orbea
49. ORCA
50. PeakPerformance
51. Pentland Brands
52. PeopleForBikes
53. Plankpad
54. PUMA
55. Restube
56. Revelyst
57. Salomon
58. SBS
59. Scott Sports
60. Sports & Fitness Industry Association (SFIA)
61. SGIA (UK)
62. Shimano
63. Shred
64. SPAIN IS SPORT (Spanish Sport Association)
65. Specialized
66. Speedo
67. Sport 2000 International GmbH
68. SRAM
69. Taiwan Sporting Goods Manufacturers Association (TSMA)
70. Tamasu Co., Ltd.
71. Tecnica Group
72. Trek
73. Tyr
74. Umbro (Iconix Brand UK)
75. Under Armour
76. Union Enterprises Sport & Cycle (France)
77. Victory Group
78. VSSO (Austria)
79. Wearable Technologies
80. WHOOP
81. Wilson
82. Xtep
83. Yonex
84. Zoggs

この運動に参加しましょう

本声明は、メーカー、ブランド、小売業者、卸売業者、連盟、業界パートナーなど、スポーツ用品のバリューチェーンに関わるあらゆる企業の賛同を随時受け付けています。

貴社として本声明への正式な支持を表明する方法については、**WFSGIの身体活動部門責任者であるキャロライン・ブルックス**（cbrooks@wfsgi.org）まで**お問い合わせください。私たちが力を合わせれば、次世代がスポーツ、身体活動、そして動きを通じて生涯にわたる恩恵を享受できるよう支援することができます。**